

# プチえっくす

三重大学広報誌  
[三重大X]

vol. 1  
2011  
AUTUMN

CONTENTS [ビジョン] 学部・研究科長、未来への道を語る…01 気になるNEWS…03 お知らせ…05





# 学部・研究科長、未来への道を語る

学部・研究科長、未来への道を語る

学部・研究科長、未来への道を語る

## 工学部・工学研究科

工学部は、「もの(製品)」を「創る(実用化)」ための技術について教育・研究することを役割とした学部です。家電製品、車、携帯電話、パソコン、LED等は、まさに工学部が中心となって製品化されています。また、これら製品を実現するために不可欠なナノテク、メカトロニクス、材料化学、バイオ、電子部品、燃料電池や最近話題となっているエネルギー問題を



工学研究科長  
小林 英雄  
Kobayashi, Hideo

解決する太陽電池、バイオマス、風車等の自然エネルギーの研究開発も工学部が担っています。三重大学工学部は、生活環境をより快適にするための殆どの産業分野をカバーしており、地域に根差し国際的に通用する高度専門技術者の育成と、日本の産業界と世界の科学技術の発展に貢献することを目指しています。

## 地域イノベーション学研究科

本研究科は、「プロジェクト・マネジメント」<sup>※1</sup>ができる研究開発型人材」を育成することを目指した文理融合型の独立研究科です。地域立脚型の企業が抱えている成長障害因子(地域ニーズ)を発見し、その成長障害因子を解決するために、PM教員<sup>※2</sup>とR&D教員<sup>※3</sup>が協力して学生を教育し、世界に通用するグローバルな視点から新しい概念や方法を創造(イノベーション)し、地域を発展させるビジネス感覚を持った人材を育成することを目指しています。また本研究科は、社会人の再教育の場としても期待されており、社会のリーダーが多数入学し、地域圏産業を活性化するために、実践的な問題を解決しながら、新領域を開拓しています。



地域イノベーション学研究科長  
鶴岡 信治  
Tsuruoka, Shinji

※1 プロジェクト・マネジメント(PM)：新事業・新製品の企画から製品化、市場投入までの管理  
※2 PM(Project Management) 教員：プロジェクト・マネジメント能力の養成を担当する専門教員  
※3 R&D(Research & Development) 教員：基礎研究能力の養成を担当する専門教員

## 教育学部・教育学研究科

教育学部は、様々な教育問題、教育環境の変化に適切に対応できる教員を養成する学部です。教科や教職に関する高い専門的知識を身につけるための教育環境を整備・充実させるとともに、学生の学びと成長をサポートする体制を整えています。隣接した諸学校園と密接に連携協力して、学生の教育実践力を高める取り組みや諸学校園の教育活動を支援する取り組みを進めており、さらに、スタートして3年目となる教員免許状更新講習等にも積極的に取り組んでいます。今後は、海外の大学と連携し、語学研修や交換留学等の機会を広げつつ、国際的な教育環境を充実させ、国際社会に貢献する学部として発展していきます。



教育学部長  
八木 規夫  
Yagi, Norio



## 医学部・医学系研究科

医学部の使命は多様ですが、医学部とは?と問われたら、「確固たる使命感と倫理観を持って医療に臨み、豊かな創造力と研究能力を培い、人類の健康と福祉の向上に努めることのできる広い視野を持つ医療人を育成する組織」と答えます。換言すると、「健康の維持・増進、そして病気の予防と治療に携わる高度専門職業人養成の場」です。それに加えて、医学研究を通して、医療の進歩と発展に貢献することが目指すビジョンとなります。医療人の育成、医学研究の推進、高度医療の開発と実践という3つの目標の達成とともに、地域で活躍する医師、看護師、保健師、そして助産師を育成し、地域で安心して生活できる医療体制を維持できることを願っています。



医学系研究科長  
登 勉  
Nobori, Tsutomu

## 生物資源学部・生物資源学研究科

生物資源学部は、1987年にそれまでの農学部と水産学部が統合改組されてできた学部です。今でこそ「生物資源」という言葉がマスコミでも時々使われますが、当時としては画期的な名前でした。この歴史からもわかるように、その教育と研究は農林水産業に関わる内容が主軸です。私たちが生きるためには、地球上の生物やそれを育む環境をうまく利用していかなくてはなりません。単なる食料の確保だけではなく、その品質や安全性も問われます。食料を確保するために、環境を破壊することも許されません。生物資源学部は、県内の複数の国や県の研究機関等とも連携し、三重県や東海地域の農林水産業の発展に寄与できる研究と人材輩出を目指しています。



生物資源学研究科長  
吉岡 基  
Yoshioka, Motoi

## 人文学部・人文社会科学研究科

人文学部の教育研究の目標は、世界の各地域の歴史と文化の理解、そして、市民、企業および政府の活動の発展です。技術の革新と医療の進歩だけでは解決できない問題が山積するなか、広い視野から、これからの社会や地域をどう創るかを考える学部です。人文学部は、日中韓の大学とのネットワークを通して成果を発信し、アジアと日本に関心をもつ欧米の大学・学部と交流を進めています。これらの成果をもとに、学生の「学び」を応援し、理解力に優れた、指導力ある地域人材を育成しています。文学、法学、理学および医学の四学部で東京大学は発足しました。日本の近代化に不可欠であったのと同じように、人文社会科学は、グローバル化と分権化のもとで変貌する地域社会の維持発展に不可欠です。人文学部は、地域の「知の連携」の中軸として、発信力ある学部を目指します。



人文学部長  
樹神 成  
Kodama, Shigeru

Road to the Future





START

7月4日

附属農場で大里小学校の生徒が茶もみ体験



教育ファーム事業の一環として4年生32名が茶摘みと製茶を楽しみながら体験しました。

7月6日

いきいきサロンキャンパス見学



参加者26名は、環境保全型コンクリート「ポーラスコンクリート」の実地解説の後、レーモンドホールや三翠会館を見学し、ばせおで昼食を楽しみました。

8月4日～6日

「World yo-yo Contest 2011」藤坂達也さんが世界第6位!!

世界大会で活躍した人文学部2年 藤坂さんは5月に行われた「全日本ヨーヨー選手権2011」でも日本一となりました。



8月8日

大学生ネットパトロールボランティア学習会



三重県教育委員会の「ケータイ・ネット対策事業」の一環として、スマートフォンを使い、問題サイトの探し方などについてのノウハウを学ぶ学習会が行われました。

7月13日

附属病院で小児科の夏祭り



出店や、小児科の医師たちが仮装をし、外来ナースステーションを改装したお化け屋敷が開かれ、夜からは花火を行うなど病棟の子供たちは夏祭りを楽しみました。

7月22日

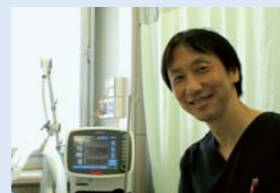
「三重大学公開シンポジウム+演劇ワークショップ」開催



演出家の鳴海康平氏をゲストにお招きし、本学教員と熱く語り合いました。「演劇」の魅力「劇的な作品」とは何かについて、質疑応答や演劇を実際に体験するなど、参加者はとても楽しみました。

7月26日

今井寛教授が映画「神様のカルテ」を医療監修 定例記者懇談会にて発表



私も日々、救急医療の場で命の大切さと向き合っています。

8月1日～3日

オープンキャンパス2011を開催



猛暑の中、8月1日(人文・工学)、3日(教育・医学・生物資源)に約4500名が参加し、保護者向けの新企画も行いました。

8月5日

小中学生のための風力発電体験学習



参加した小中学生32名は、模擬授業や実際に風車を組み立てるなど、楽しい一日を過ごしました。

8月7日

みえ発音楽療法フェスティバル2～音楽の森～

標記企画は、10年前から本学の学生と教員が企画・実践しているウィリアムズ症候群の患児と家族のための芸術プログラムの一環です。参加者は、様々な音楽を体験することができました。



8月20日

公開講座「リフレッシュ理科教室」



参加した小中学生136名は、電気で動く様々な工作に熱心に取り組みました。

8月25日

田口寛名誉教授と有機茶栽培農家「竹尾茶業」が「名誉教授と作った有機茶パウダー」を共同開発!!

標記商品は、健康長寿効果が期待される津発の商品として開発されました。



9月9日

地域とのつながりの場「三重大学地域連携プラザ」開設



津市大門の津センターパレス1階に大学紹介のパネルや広報誌等の展示、産学官連携による成果物の紹介などが行われています。

7月16日

熟議2011 in 三重大学



「対話と協働～未来に向けて」をテーマに、総勢118名が白熱した議論を展開しました。

7月29日

第一回三重大新ブランド開発コンペティション



有志の若手教職員、生協学生委員会、ピアサポーター学生委員会から50名が出席し、23案中5件が上位候補として発表され、今後製品化が期待されます。

7月31日

「M祭! 2011」に男女共同参画推進室が参加



「M祭!」とは、毎年三重県総合文化センターにおいて行われる楽しく学んで体験できる、県主催の子ども向けイベントです。今年も多くの子供や学生、親子が参加し、感動を与え好評のうちに終了しました。

9月5日

商標ブランドシンポジウム



地元企業の方々および本学教職員など約70名が参加し、「地域活性化に大学・公的ブランドを活用するには?」をテーマに活発な公開討論が行われました。

9月7日

三重大ゴーにゃんと津市GOちゃんの出会



NHK大河ドラマ「江」のゆるキャラゴーにゃんとGOちゃんが、三重大学構内で出会い、お互い興味津々でした。

9月15日

平成23年度震災復興セミナー開催



三重県内で想定される東海・東南海・南海地震に備えた復興準備対策の必要性を理解できる充実したセミナーとなりました。



GOAL



お知らせ ● 公開講座・シンポジウムなど

公開講座・シンポジウムなど

三重大学・鳥羽市・海の博物館文化フォーラム2011 「海女文化を活かす」

◎日時◎ 平成23年10月29日(土) 13:00~17:00
◎講師◎ 菅原洋一(工学部・教授)、塚本 明(人文学部・教授)、石原義剛(海の博物館館長・客員教授)
◎会場◎ 海の博物館 ◎受講料◎ 無料 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 海の博物館/☎0599-32-6006
URL http://www.lib.mie-u.ac.jp/

三重大学・志摩市文化フォーラム2011 「大震災から学ぶこと」

◎会場◎ 志摩市阿児アリーナ ベイホール
◎受講料・定員◎ 無料・300名 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 三重大学社会連携研究センター/☎059-231-5493
志摩市企画部企画政策課/☎0599-44-0205

「地震と津波 ～東南海地震に向けて取り組むべきこと～」

◎日時◎ 平成23年11月16日(水) 19:00~21:00
◎講師◎ 川口 淳(工学研究科准教授・自然災害対策室副室長)、福山 薫(生物資源学研究所特任教授)

「ストレスとうつ ～生活環境の変化が与える影響とは～」

◎日時◎ 平成23年11月30日(水) 19:00~21:00
◎講師◎ 松浦 均(教育学部教授)、小森照久(医学系研究科教授)

「危険な放射線と使える放射線 ～身近にある放射線を知ろう～」

◎日時◎ 平成23年12月14日(水) 19:00~21:00
◎講師◎ 苅田修一(地域イノベーション学研究所教授)、佐久間 肇(医学部附属病院放射線診断科長・准教授)

青少年のための科学の祭典2011 三重大学大会

◎日時◎ 平成23年11月19日(土)、20日(日)
/1日目13:00~17:00、2日目10:00~16:00
◎出展者◎ 大学教員、大学生、科学ボランティア、小中学校教員、企業他
◎会場◎ 三重大学講堂 ◎受講料・定員◎ 無料・自由参加
◎受講対象者◎ 児童、保護者、市民一般
◎問い合わせ先◎ 教育学部理科教育担当/☎059-231-9260または090-6616-9260
URL http://sci.edu.mie-u.ac.jp/

三重大学医学部附属病院がんセンター 市民公開講座

■ 知ってほしいがんに対する放射線治療
◎講師◎ 不破信和(南東北がん陽子線治療センター長)
山門亨一郎(三重大学医学部附属病院IVR科長)他
◎日時◎ 平成24年2月25日(土) 13:00~16:00
◎会場◎ 三重県総合文化センター中ホール
◎受講料・定員◎ 無料・950名 ◎受講対象者◎ 市民一般
※詳細については、本年12月に確定し、ポスター等にてご案内します。

? 「発見塾」三重大学シリーズ 2011

◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館/☎059-231-9032
■ 三角縁神獣鏡を科学すると日本の古代が見えてくる
◎講師◎ 宮崎照雄(大学院生物資源学研究所・教授)
◎日時◎ 平成23年11月26日(土) 13:30~15:00
◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

元気で長生きするために今できることは何か? —骨粗鬆症の予防と治療—

◎講師◎ 須藤啓広(大学院医学系研究科・教授)
◎日時◎ 平成24年1月28日(土) 13:30~15:00
◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

伊勢参宮の立役者御師の屋敷を復元する

◎講師◎ 菅原洋一(大学院工学研究科・教授)
◎日時◎ 平成24年3月17日(土) 13:30~15:00
◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

国立大学フェスタ2011・大学改革シンポジウム 東海圏4大学連携市民フォーラム

「大学と地域が育てるグローバル・リーダー」
◎日時◎ 平成23年11月5日(土) 14:00~16:00(開場13:30)
◎会場◎ 名古屋大学豊田講堂 ◎受講料・定員◎ 無料・1000名
◎受講対象者◎ 市民一般 ◎申込◎ 不要
◎問い合わせ先◎ 三重大学学術情報部研究支援チーム/☎059-231-9704

みえ研究交流フォーラム

◎日時◎ 平成23年11月2日(水) 10:00~17:00、3日(木) 10:00~16:00
◎会場◎ 四日市ドーム(四日市霞ヶ浦緑地内) ◎入場料・申込◎ 無料・不要
◎その他◎ 三重大学—四日市ドーム間で無料シャトルバスを運行します
シャトルバス運行予定はこちら
URL http://www.crc.mie-u.ac.jp/forum/bus2011.html

人文学部「公開ゼミ2011」

◎会場◎ 三重大学人文学部 ◎受講料・定員◎ 無料・各ゼミ20名
◎受講対象者◎ 市民一般 ◎申込み期間◎ 開講の5日前まで
◎問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当/☎059-231-9195
URL http://www.human.mie-u.ac.jp/

⑨ 英語で自伝を読む

◎講師◎ 小田敦子(文化学科・教授)
◎日時◎ 平成23年10月25日(火)、11月1日(火)、8日(火) 19:00~20:30

⑩ 日本人移民と日系社会

◎講師◎ 藤本久司(文化学科・准教授)
◎日時◎ 平成23年11月8日(火)、15日(火)、22日(火) 19:00~20:30

⑪ ドイツのコミック事情

◎講師◎ 大河内朋子(文化学科・教授)
◎日時◎ 平成23年11月11日(金)、25日(金)、12月9日(金) 13:00~14:30

⑫ 現代の日本経済について考える ～あるべき金融の姿を踏まえて～

◎講師◎ 野崎哲哉(法律経済学科・教授)
◎日時◎ 平成23年11月15日(火)、22日(火)、29日(火) 16:20~17:50

⑬ ささまざまな絵画

◎講師◎ 藤田伸也(文化学科・教授)
◎日時◎ 平成23年12月1日(木)、8日(木)、15日(木) 10:30~12:00

⑭ 防災活動における住民との協力・協働体制

◎講師◎ 前田定考(法律経済学科・准教授)
◎日時◎ 平成23年12月上・中旬の予定 18:30~20:00

アントニン・レーモンド展

■ 講演会
◎日時◎ 平成23年12月4日(日) 13:30~16:00(開場12:30)
◎会場◎ 三重大学講堂小ホール
◎講師◎ 三沢 浩(三沢建築研究所)、松隈 洋(京都工芸繊維大教授)
◎テーマ◎ アントニン・レーモンドと木造モダニズム

■ 特別公開・展示会

◎日時◎ 平成23年12月3日(土) 13:00~16:00
12月4日(日) 10:00~16:00
12月5日(月) 10:00~13:00
◎会場◎ レーモンドホール
◎展示◎ 「三重の建築散歩」展

三重大学アカデミックフェア

◎日程◎ 平成24年2月14日(火) 13:00~17:00
◎会場◎ 共通教育棟3号館
◎入場料◎ 無料
◎申込◎ 不要 ◎対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 三重大学学生サービスチーム 中島・萩野/☎059-231-9854
e-mail seikatsu-shien@ab.mie-u.ac.jp

第23回壬申の乱ウォーク「久留倍遺跡と聖武天皇」

◎日程◎ 平成23年11月12日(土) 9:00~12:00
◎集合場所◎ 四日市市大矢知所在長倉神社(9:30集合)
◎コース◎ 久留倍遺跡 聖武天皇社 耳常神社 他
◎受講対象者◎ 市民一般 ◎受講料・定員◎ 無料・300人
◎講師◎ 山中 章(人文学部・教授)

第4回四日市久留倍まつり「伊勢湾と木簡」

◎日程◎ 平成23年11月12日(土) 13:00~16:45
◎会場◎ あさけプラザ 三重県四日市市富田(近鉄富田駅下車徒歩15分)
◎受講料◎ 無料(資料集:500円)
◎講師◎ 高村武幸(三重大学准教授)、清水みき(三重大学非常勤講師)、今泉隆雄(東北大学名誉教授)

これからのエネルギーについて考えるシンポジウム

—3・11福島事故のあと—
◎日程◎ 平成23年10月22日(土) 13:30~
◎会場◎ 三重大学講堂小ホール ◎講師◎ 和田 武(元立命館大学教授)
◎参加費◎ 無料(資料集:500円) ◎申込◎ 不要 ◎協賛◎ 三重大学
◎問い合わせ先◎ 人文学部前田研究室/☎059-231-9130

催し物

三重大学祭

テーマ/つながり
11月5、6日 だよ
~Stand By Mie~

ミスター・ミスに輝くのは一体?
ミエダイ M-1コンテスト
~ヒカリ輝け三重の原石たちよ~

気になる今年のアーティストは...
フレイク間近!?
神戸で活躍するロックバンド、EGG BRAINI!
人気アニメ「NARUTO」のエンディングテーマを歌った、SABOTEN!!

三重大学大学祭実行委員会のtwitterもあるよ!
みんなもフォローしてみてね!

お知らせ ● 公開講座・シンポジウムなど/催し物

● お願い ● 三重大学振興基金・メールマガジン

お願い
三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学費援助事業
◎学生の修学環境整備事業
◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
◎地域貢献支援事業
◎その他他学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: http://www.mie-u.ac.jp/fund/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

配信お申込み方法
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789/FAX 059-231-9000
ホームページ http://www.mie-u.ac.jp/
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
\*ご意見をお寄せください。

プチえっくす vol.1 平成23年10月15日発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

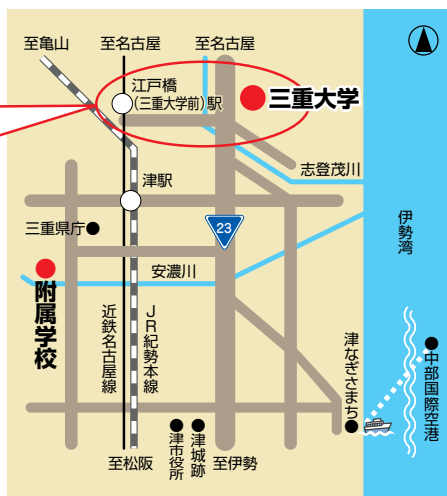
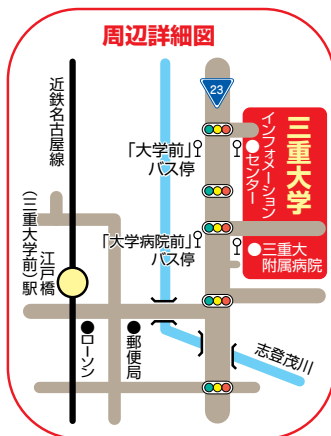
# 三重大学医学部附属病院 新病院

## 2012年1月開院予定!



大学病院でしかできない高度な先端医療を、  
より多く遂行することをめざします  
病院長 竹田 寛

### 周辺詳細図



### 交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重大病院」(51系統)、「棕本(おくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
  1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
  2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

 **三重大学**

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
TEL 059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>

